

公益財団法人慶長遣欧使節船協会

# 令和3年度 事業計画書

## 1 事業運営方針

法人の目的である「慶長遣欧使節等の大航海時代の歴史的事績並びに船舶及び海洋に関する学習・体験の場を提供することにより、地域の振興及び青少年の健全育成に寄与する」基本方針を中心に、使節派遣の意義を慶長の大震災からの復興に結びつける視点及び東日本大震災で被災した慶長使節船ミュージアムの震災遺構としての立場も加えた各種事業を行う。

また、コロナ禍におけるミュージアムの役割を再認識した上で、復元船「サン・ファン・パウティスト」号の偉業を後世に伝えるための事業展開を継続して実施する。

## 2 公益目的事業

### 公-1 慶長使節船ミュージアム 企画事業

当協会は、宮城県より復元船を含むミュージアムの管理運営・関連企画事業の実施等を受託しているが、企画事業の中心であった復元船の展示公開が終了し、その後の解体が決定したことから、以後、企画事業の全体テーマとして「サン・ファン・キャラバン」を新たに掲げ、館内事業の枠を超えて地域の文化・観光振興に歴史・文化の分野から貢献できるよう、下記のソフト事業を幅広く展開する。

#### (1) 企画展示事業

##### ① 令和3年度企画展「サン・ファン号と三陸牡鹿の風土シリーズ」

【開催日】令和3年夏季～

【内容】歴史・民俗・産業・観光の視点から、牡鹿半島をテーマとした企画展を開催する。

##### ② ミュージアム資料の館外出張展示・説明会

【開催日】通年

【内容】当ミュージアムで所蔵する資料について、他館や文化施設・教育施設などを会場とした出張展示や説明会を行う。

##### ③ アーカイブ資料「石巻の人びととサン・ファン号のあゆみ」写真展（仮）

【開催日】令和3年度春季

【内容】サン・ファン館にて所蔵する写真データ等を活用し、来館者に紹介するための写真展を開催する。

---

## (2) 講座・講演会事業

---

① 令和3年度 出前講座「希望の帆船について学ぼう（仮題）」

【開催日】 通年

【内 容】 沿岸部の文化観光と震災遺構ガイドランスなどの視点から、出前講座を実施する。

② 令和3年度 有識者講座「タイトル未定」

【開催日】 通年

【内 容】 外部より専門家を招き、慶長使節や船について学ぶ講座を開催する。

③ 令和3年度 シンポジウム「タイトル未定」

【開催日】 令和3年秋季

【内 容】 慶長使節・サン・ファン号をテーマとしたシンポジウムを開催する。

---

## (3) 船舶文化事業・教育学習支援事業

---

小中学生を中心に、サン・ファン・パウティスタ号と慶長使節の姿を通して、自身の夢を育みながら、地域の歴史・風土に親しんでもらうための各種事業を展開する。

① 第2回「サン・ファン号を未来へつなぐコンクール」

【期 間】 通年

【内 容】 サン・ファン・パウティスタ号をモチーフに、「絵画」「デザインマーク」「作文」の3部門からそれぞれのテーマに沿った作品を募集する。

② 通年ワークショップ「タイトル未定」

【開催日】 通年

【内 容】 来館者にいつでも楽しんでもらえるためのワークショップについて企画する。

③ 学習プログラム「博物館は教室だ！」

【期 間】 随時受付

【内 容】 木・海・船に関する体験、震災伝承に関する講座、ツアーなどさまざまな角度から慶長使節について学ぶためのプログラムを開催する。

---

#### (4) 誘客・協賛事業

---

地域の観光・賑わいの創出の観点から、地域団体と連携を図りながら各種集客事業を展開する。

##### ① GW 関連イベント

【開催日】令和3年5月1日（土）～5日（水）

【内 容】石巻に大勢訪れる観光客向けの、ミニ企画を実施する。

##### ② 第28回サン・ファン祭り

【開催日】未定

【内 容】平成5年の「サン・ファン・パウティスタ号」復元船建造の偉業を後世に伝える、石巻市民手作りのお祭り。※コロナ対策の上、秋季に延期して開催検討。

【主 催】サン・ファン祭り実行委員会

##### ③ サン・ファン・パウティスタ号出帆記念祭2021

【開催日】10月下旬

【内 容】サン・ファン・パウティスタ号の出帆日を記念して、慶長使節に関連する各種館内イベントを実施する。

##### ④ サン・ファン・イルミネーション2021

【期 間】11月初旬～翌年1月下旬

【内 容】サン・ファン館展望棟及びサン・ファンパークを約4万球の電飾とライトアップで幻想的に彩る。

---

#### 公-2 宮城県慶長使節船ミュージアム 管理運営事業

---

令和3年度のミュージアムの管理運営においては、県内の博物館と情報交換を積極的に行い、新型コロナウイルス感染拡大防止対策状況下におけるミュージアムの意義を改めて再認識しながら、復元船「サン・ファン・パウティスタ」号の展示公開終了と解体に対応する形で展望棟展示の充実を図り、施設の運営管理・各種事業を実施する。

また、令和6年度の供用開始に向けて準備が進められている、ミュージアムのリニューアル関連業務にあたって、協会として可能な限りの技術的支援を行う。

(令和3年度開館日数：309日 入館者目標数：30,000名)

---

#### (1) 慶長使節船ミュージアム 展示・解説業務

---

「サン・ファン・パウティスタVR船内ツアー」などのデジタルコンテンツを最大限活かし、随時案内を行うほか、希望する団体や学校等を対象にツアー等を実施する。

---

## (2) 慶長使節船ミュージアム 広報業務

---

宮城県・石巻市の広報紙、旅行雑誌への記事掲載、テレビ・新聞等メディアを活用した広報を実施する。また、WEBサイトを積極的に活用し、SNS等の情報発信ツールと併せ、ミュージアムのリニューアルに関する情報など、積極的なPRに努める。

---

## (3) 慶長使節船ミュージアム 特別開館等

---

- ア) 入館料無料開放・・・海の日(7月)、出帆記念日(10月)
- イ) 開館時間延長・・・8月中(午後5時30分まで1時間延長)

---

## (4) 慶長使節船ミュージアム 各種設備機器保安・保守業務

---

運営組織に基づき協会職員が管理運営に当たるほか、次の業務は各専門の業者に委託し、更なる施設の安全性の向上と効率的な施設の維持管理に努める。

- ア) 清掃業務
- イ) 警備業務
- ウ) 昇降装置保守点検業務
- エ) 階段昇降機設備保守点検業務
- オ) 施設管理業務
- カ) 植栽管理業務
- キ) 電気設備管理保安業務

---

## (5) 慶長使節船ミュージアム リニューアル事業に係る業務支援

---

令和2年度現在、宮城県によるミュージアムのリニューアル事業が継続して実施されているが、令和3年度の「ミュージアム改修工事実施設計業務」の実施にあたっては、1996年からのミュージアム管理運営の知識と経験を活かして、様々な技術的支援を継続して実施する。

- ア) 後継船の設計、制作と展示に関する技術的支援
- イ) 業務用備品等の管理及び処分
- ウ) 後継船の維持管理手法の検討
- エ) ドック棟及び作業用道路の点検・管理(※工事期間中も継続する)

---

## (6) 慶長使節船ミュージアム 研修・防災訓練等

---

来館者の利便性の向上や安全の確保のため、外部講師等による適切な指導の元、講習会などを実施する。また、他の博物館・観光施設等を視察すると共に、外部セミナー等を活用し、地域との連携を図りながら、観光面やインバウンド面等から幅広いニーズに対応できるよう努める。

- ア) 避難訓練の実施…秋季
- イ) AED講習会の実施…冬季
- ウ) 研修視察及び観光関連セミナー
- エ) インバウンド関連セミナー

---

## (7) 慶長使節船ミュージアム 企画運営委員会

---

館長の諮問機関として、有識者からなる企画運営委員会を開催し、企画広報事業に関する意見や提案等を受け事業運営に反映させる。

- ・令和3年度企画運営委員会 令和4年1月下旬予定

---

## 公-3 サン・ファン・パウティスタ復元船 管理事業

---

当協会ではこれまで、ミュージアムのメイン展示物である復元船サン・ファン・パウティスタを宮城県民の貴重な財産として維持管理してきたが、当船は、建造から約20年以上の年月が経ったこと、大震災に伴う大津波に直撃したことなどから、腐朽が顕著になり、平成27年度に宮城県が実施した「慶長使節船復元船の今後の維持管理検討に関する調査」では「直ちに崩壊等はしなくとも、現状ではあと5年はもたない。」という報告が示された。

以後、令和3年3月末を持って展示公開を終了し、今後解体する方針が決定されたが、当船の管理にあたっては、指定管理者として宮城県や復元船建造企業などと協議を重ねながら適切な管理・解体・再利用方法を継続して検討し、約30年間、復元船が担ってきた役割を新しい形で後世に繋いでいくための方策を構築していく。

---

### (1) 復元船解体及び後継船整備事業に係る業務支援

---

ア) 現船解体の実施設計と解体作業に関する技術的支援

イ) 解体部所の選別計画、目的別の管理保存

ウ) 廃棄部品および木材のグッズ転用と配布（※製作・維持管理・販売など）

---

---

## 公-4 石巻市サン・ファン・パウティスタパーク 管理運営事業

---

立体駐車場、サン・ファン広場、芝生広場等で構成されるサン・ファンパークは、ミュージアムの付帯施設として、来場者の憩いの場、イベント会場を提供している。市民の文化活動の向上に資し、合わせて市民の憩いの場を提供するため、隣接する宮城県慶長使節船ミュージアムとの一体的な管理運営により効率的な維持管理に努める。

---

### (1) サン・ファンパーク 観光案内業務

---

サン・ファンパークは、石巻圏域と牡鹿半島の観光の拠点として、サン・ファンパーク立体駐車場1階に「サン・ファンインフォメーションセンター」を設置するとともに、無料Wi-Fiを整備し、観光客の利便性の向上を図りながら、石巻地域の観光・文化施設を中心に大型モニターや各施設のチラシなどによりPRする。

---

### (2) サン・ファンパーク 各種設備機器保安・保守業務

---

サン・ファンパークは、駐車場トイレ、自動販売機、等を備えており、不特定多数の市民が利用していることに併せて、隣接するサン・ファン館の入館者の殆どが利用していることから、開園中は協会職員が運営管理に当たるほか、次の業務は各専門の業者に委託し、更なる施設の安全性の向上と効率的な施設の維持管理に努める。

ア) 清掃業務 イ) 警備業務 ウ) 施設管理業務 エ) 植栽管理業務

---

### (3) サン・ファンパーク 利用促進業務

---

サン・ファンパークは令和1～2年度の改修工事に伴い、噴水や駐車場設備等の老朽化が解消され、新たに遊具が設置されるなど、市民の憩いの場としての利便性が向上したことから、以下のとおりミュージアムと連携した積極的な活用・貸出・PR等を行い、地域の活性化やより一層の賑わいの創出に努める。

- ア) イベント事業…サン・ファン祭り、海の記念日 出帆記念祭などの連携
- イ) 物産会、芸能・音楽祭、園遊会などの企画運営（地域関係団体と共催を促進する）
- ウ) 市民団体を中心としたパーク貸出業務
- エ) 学校行事（遠足・野外学習会）の補助・支援

### 3 収 益 事 業

#### 1 サン・ファンショップ グッズ販売事業

サン・ファン関連のグッズや石巻市の産品などを取り揃え、より一層の販売促進やサービスの向上に努める。また、関連イベントなどにも積極的に出店し、当館のPRやリピーターの増加に努める。

### 4 法 人 管 理

#### 1 慶長遣欧使節船協会 理事会

第1回理事会 令和3年5月下旬（予定）

第2回理事会 令和4年2月上旬（予定）

#### 2 慶長遣欧使節船協会 評議員会

定時評議員会 令和3年6月中旬（予定）